

**田沼の改革②**  
**蝦夷地の開発と調査**

蝦夷地、すなわち北海道の開発事業は、印旛沼干拓事業とともに田沼時代を代表する大規模事業の一つです。この政策のきっかけは、意次が、仙台藩の医師で蘭学者の工藤平助が著したロシアおよび蝦夷地の研究書『赤蝦夷風説考』に興味を持ったことでした。一説には、永く後世の人のためになることをやりたかった意次が、工藤平助の献策を採用したともいわれています。

天明4（1784）年5月、意次の命を受けた勘定奉行・松本秀持は、『赤蝦夷風説考』を参考に蝦夷地開発の方針をまとめます。その内容は、鉱山開発とそれによって得た金銀銅でロシアと交易し、利益を得るといったものでした。そして、翌5年、事業の実現性を検討するため、調査隊を派遣しました。

同年4月29日に松前を出発した調査隊は、東蝦夷地からクナシリ島に行く隊と、西蝦夷地からカラフトに行く隊に分かれて、調査を行いました。

前者のメンバーは、青島俊蔵、山口鉄五郎、最上徳内など。後者のメンバーは、菴原弥六、引佐新兵衛、鈴木清七などで構成されていました。これは、日本史上初となる本格的な蝦夷地調査でした。また、天明6（1786）年には、調査隊の報告を受けて、新たに新田開発が計画に組み込まれました。

ところが、同年8月、意次が失脚によって老中を辞職したため、計画は中止され、調査隊も解散させられました。蝦夷地開発は幻のものとなりました。

しかし、この計画が端緒となり、蝦夷地の持つ将来性が広く認識されたことは、歴史的な転換点となりました。この調査で得られた自然や地理、風俗、さらにロシアに関する報告は、貴重な情報として、その後の蝦夷地調査の基礎となったのです。そして、蝦夷地開発は、紆余曲折を経ながら幕府の方針として生き残り、やがて明治政府へと受け継がれました。

もしかしたら、意次がいなければ、現在の北海道は存在しなかったかもしれません。

田沼時代における蝦夷地



長久保赤水筆「改正日本輿地路程全図」（安永版）

田沼時代に出版された日本地図。蝦夷地（北海道）が描かれていない。当時の日本社会にとって、蝦夷地は未知の領域だった。



「蝦夷国全図」（林子平『三国通覧図説』より）

田沼時代に出版された蝦夷地（北海道）の絵図。現在の北海道とは似ても似つかない形である。



「三国通覧輿地路程全図」（林子平『三国通覧図説』より）

田沼時代に出版された東アジアの絵図。蝦夷地（北海道）が本州に匹敵する大きさと描かれている。

このたび、民生委員・児童委員の改選が全国一斉に行われました。本市では、継続の人を含め、地区担当委員93人と主任児童委員6人の計99人が、厚生労働大臣から委嘱を受けました。任期は3年間です。民生委員は、児童委員を兼ねています。地域の身近な相談相手として、地域を見守り、介護や障がい、子育てなど福祉に関する相談に応じることで、支援を必要とする人と行政・関係機関との「つなぎ役」を担っています。その中には、子どもに関する支援を専門とする主任児童委員がいます。民生委員・児童委員も地域の一員として活躍をしています。住民同士がお互いに支え合う地域づくりを目指しましょう。民生委員・児童委員には、守秘義務があります。相談内容や個人の秘密が漏れることはありません。安心して相談してください。

民生委員・児童委員 [地区担当委員] (敬称略)

区名	担当地区	氏名	区名	担当地区	氏名
相良	相良東	本多道子	静波	一丁目	大石均
	相良西	牧野英恵		二丁目	伊藤広子
福岡	福岡	北川治子		三丁目	川村玲子
	波津西・南丁	古川良朗		四丁目	大石孝子
波津	西丁・汐見台	松下全代		東五丁目	小池進
	西仲丁・仲丁	八木勇		西五丁目	笠原勤
	下波津・上波津・百花	増田寿賀子		六丁目	羽田幸代
	波津一丁目・波津二丁目	稲本章二		仲町	浜崎一義
	銀座・本通り・元城・栄丁南北	沖保		十丁目	中村日出恵
	大原第1	川口あさ子		十一丁目	横田喜久男
	大原第2	水野早苗		十二丁目	鈴木美津子
	須々木東・1組～11組	名波広之		東慶林	大石正夫
	須々木西・12組～20組	増田雅巳	県営住宅・青池1班～4班	西谷直美	
	鬼女新田・須々木原・大沢原	西川宣男	青池4-1班～9班	池田三郎	
大沢	大原・大原東・源入	増田浩克	寄子	田村京子	
	園沢・上奥谷・下奥谷の一部	長谷川育男	西福田	中村美千子	
大江	下奥谷の一部・井原	野ヶ本幾代	東福田	良知和弘	
	平田	西藤祐司	根松	大石貴美子	
片浜	太田浜	矢部清文	堀の内	伊藤睦子	
	海老江	富田伊津子	時ヶ谷	山田正夫	
菅山	東中・小牧	良知陸江	道上	田中和子	
	坂井・法京	森田護	後原	藤田光代	
中里	大磯・久保柄・堀切・原	大鐘愛子	谷の口	小村美恵子	
	堀之内・西中・菅ヶ谷団地	赤堀和子	橋向	小村絹子	
白井	下谷川・上谷川・高和・宮代・大向	小俣裕子	藤沢	中山里美	
	時ヶ谷・大知・新田・菅ヶ谷原	紅林辰男	橋柄・新戸・追廻	山本君代	
神寄	松本・西山寺	紅林良文	仁田・庄内	野村眞理子	
	蛭ヶ谷・中西	八木芳男	鹿島	田中勝江	
西萩間	黒子・和田	鈴木正行	道場・日機装	富永進	
	濁沢・男神・百所	長野仲枝	中	大石尚美	
東萩間	石原田・宮本・西側・土沢	中田かおる	勝間下・上	櫻井厚志	
	女神	森田節子	切山下・中	中島京子	
牧之原	大寄	鈴木眞弓	勝間上・下	飯塚みち江	
	第1水呑・第2大曲	絹村りつ子	三栗	飯塚明雄	
地頭方	第3八十原・第4仁王辻	水野あや子	朝生	加藤学	
	第5峠原・第6西原	藤野麻美子	牧之原北	山田意津雄	
落居	地頭方北1～13	福田均	牧之原南	後藤晴代	
	地頭方南14～25	道下充	布引原	伊藤潤一	
豊岡	地頭方西26～39-4	矢野克二	牧之原中央	坂口孝夫	
	落居	本目美知子	坂部第一	福代清	
新庄	堀野新田	丸山節生	坂部第二	渡邊文江	
	笠名	若林恵美子	坂部第三	杉本正	
遠渡	新庄北	鈴木千鶴子	坂部第四	横山一成	
	新庄南	水野晴夫	坂部第五	関益美	
	遠渡上	松下一二三	坂部第六	板倉憲子	
	遠渡下	清水とし子			
		楠田義美			
		平塚登			

民生委員・児童委員 [主任児童委員] (敬称略)

担当地区	氏名	担当地区	氏名
相良地区	大石泰子	静波区・川崎区・牧之原区	大石良子
萩間地区	横山春乃	細江区	山本朋代
地頭方地区	海野龍子	勝間田区・坂部区	伊波海みどり



任期は令和元年12月1日から令和4年11月30日まで  
「あなたの身近な相談員」 民生委員・児童委員が改選されました

問い合わせ 社会福祉課 佐藤 ☎ (23) 0070